

# 総合医養成こそ 地域病院の使命だ

医療法人花仁会 秩父病院 院長

## 花輪 峰夫

「目からうろこでした」と研修医が言つた。「目からうろこが落ちる」が正確な表現であるが、彼は続けた。「アップって開腹するんですね、こんなにすぐ終わるんですか?」私は啞然とし、それこそ目玉が落ちそうになつた。

複数の大学で小児外科医がいなくなり、子供のアップペやヘルニアに対応出来なくなつた。また、麻酔科医が不足し、手術を制限しているとも聞く。今の若い医師達はそれを「仕方がない」と思うのだろうか。私にはどうしても納得がいかない。10分やそこらで終わる小児のヘルニアを気管内挿管全身麻酔で腹腔鏡下手術。アップに至つては炎症を抑えてから後日腹腔鏡下で行う。「傷がへそに隠れて目立たない」というが、幼小児の腹壁は薄く組織は柔軟であり、人差し指が入れば虫垂切除は十分に可能なのに、なんでそんなに面倒くさくするのだろうか。麻醉の出来ない外科医なんて「気の抜けたサイダー」のようなものと思うのである。

今や「鏡視下手術」「器械縫合」は全盛である。素晴らしい方法ではあるが、「何でもこれ」はいただけない。最もまずいのは、若い医師がいきなり「これ」をやり、それしか出来なくなること。「開腹も手縫いも出来ない外科医」なんて、考えただけで恐ろしい。「手術」とは正に字の通り、指はメス・鉗子であり、指先は精密なセンサー、手の平は鉤(こう)ともなる。私は組織に触れてこそ手術が出来る、と思っている。若い医師達を見ていると、手と意識が患者の組織から離れていると感じ

た。「目からうろこが落ちる」と研修医が言つた。「目からうろこが落ちる」が正確な表現であるが、彼は続けた。「アップって開腹するんですね、こんなにすぐ終わるんですか?」私は啞然とし、それこそ目玉が落ちそうになつた。

複数の大学で小児外科医がいなくなり、子供のアップペやヘルニアに対応出来なくなつた。また、麻酔科医が不足し、手術を制限しているとも聞く。今の若い医師達はそれを「仕方がない」と思うのだろうか。私にはどうしても納得がいかない。10分やそこらで終わる小児のヘルニアを気管内挿管全身麻酔で腹腔鏡下手術。アップに至つては炎症を抑えてから後日腹腔鏡下で行う。「傷がへそに隠れて目立たない」というが、幼小児の腹壁は薄く組織は柔軟であり、人差し指が入れば虫垂切除は十分に可能なのに、なんでそんなに面倒くさくするのだろうか。麻酔の出来ない外科医なんて「気の抜けたサイダー」のようなものと思うのである。

今や「鏡視下手術」「器械縫合」は全盛である。素晴らしい方法ではあるが、「何でもこれ」はいただけない。最もまずいのは、若い医師がいきなり「これ」をやり、それしか出来なくなること。「開腹も手縫いも出来ない外科医」なんて、考えただけで恐ろしい。「手術」とは正に字の通り、指はメス・鉗子であり、指先は精密なセンサー、手の平は鉤(こう)ともなる。私は組織に触れてこそ手術が出来る、と思っている。若い医師達を見ていると、手と意識が患者の組織から離れていると感じ

る。「目からうろこでした」と研修医が言つた。「目からうろこが落ちる」が正確な表現であるが、彼は続けた。「アップって開腹するんですね、こんなにすぐ終わるんですか?」私は啞然とし、それこそ目玉が落ちそうになつた。

複数の大学で小児外科医がいなくなり、子供のアップペやヘルニアに対応出来なくなつた。また、麻酔科医が不足し、手術を制限しているとも聞く。今の若い医師達はそれを「仕方がない」と思うのだろうか。私にはどうしても納得がいかない。10分やそこらで終わる小児のヘルニアを気管内挿管全身麻酔で腹腔鏡下手術。アップに至つては炎症を抑えてから後日腹腔鏡下で行う。「傷がへそに隠れて目立たない」というが、幼小児の腹壁は薄く組織は柔軟であり、人差し指が入れば虫垂切除は十分に可能なのに、なんでそんなに面倒くさくするのだろうか。麻酔の出来ない外科医なんて「気の抜けたサイダー」のようなものと思うのである。

今や「鏡視下手術」「器械縫合」は全盛である。素晴らしい方法ではあるが、「何でもこれ」はいただけない。最もまずいのは、若い医師がいきなり「これ」をやり、それしか出来なくなること。「開腹も手縫いも出来ない外科医」なんて、考えただけで恐ろしい。「手術」とは正に字の通り、指はメス・鉗子であり、指先は精密なセンサー、手の平は鉤(こう)ともなる。私は組織に触れてこそ手術が出来る、と思っている。若い医師達を見ていると、手と意識が患者の組織から離れていると感じ

る。たまには眼をつむり、指先に全神経を集中させてみると良い。

極端な専門医志向の弊害について述べたい。専門性を否定するつもりは全くない。「プロ」である限り、誰しも達人・匠

は憧れであろう。しかし、皮膚の良性腫瘍は形成外科、痔は肛門外科、消化器外科領域一つとっても、あまりに細分化している。重複がんも外傷による多臓器損傷も珍しくないが、それぞれの処置は臓器別専門医の領域となると言う。今や「一般外科」という分野は無いのだろうか。

実際の地域医療の現場では、各科の専門医がそろつている訳ではない。特に夜間救急の現場は少数の医師で対応せざるを得ず、来院する患者の多くが専門外である。それなのに、大学では「訴訟が怖いから専門外の患者を診るな」と教育しているらしい。最近「患者のたらい回し」が問題となつたが、受け入れ拒否の理由で多いのは、「専門医がいない」と教育しているらしい。しかし、これは患者を断る正式な理由にならない。「訴訟が怖いから専門外は見ない」「触らぬ神に祟りなし」がまかり通るなら、地域医療は崩壊し、医師の権威は地に落ちるであろう。叱責されるべきは、断つたその行為と責任感の欠如である。守備範囲の狭い医師は全く役に立たない。

さて、以上のような現状で、今求められるものは「総合医の養成」であろう。一口に総合医といつてもさまざまあ捉え方がある。家庭医、かかりつけ医、プライマリ・ケア医、救急医、総合診療医等だ。

私は、総合医としてさまざまな条件を述べた。しかし、ふと気付けば、これらは「昔ながらのお医者さん」の姿でもある。「患者を断るな」が口ぐせであった「明治生まれの医者」、父の姿が思い出される。医学の急速な進歩に伴う専門特化した医療は必要不可欠であるが、一方で多くの弊害を伴う。だからこそ、広い視野と見識を持った総合医は必要であり、「総合医の養成」こそが地域病院に課せられた使命と言つても過言ではない。



# 秩父病院 花輪 峰夫院長

**DOCTOR'S MAGAZINE**

12  
December

 December	<b>12月</b> <b>医療法人社団 明世会</b> <b>成城内科</b> <b>Precursor -先駆者-</b> <b>宮崎県立宮崎病院 救命救急科 部長 兼 医長</b> <b>雨田 立憲</b> <b>Doctor's Opinion</b> <b>総合医療施設ご当地病院の使命だ</b> <b>医師界 -医師の非常識-</b> <b>妊娠中の患者さんは薬を処方しない?</b> <b>□ 井村ひのり リカバーバルズ</b> <b>マークイー兆候がいた患者さんの鑑別は?</b> <b>糖尿病検査指定期間紹介</b> <b>砂川市立病院</b> <b>朝日新聞社</b> <b>独立行政法人 国立病院機構 新潟病院</b> <b>総合病院 山口赤十字病院</b> <b>医療過誤引責制</b> <b>医師の検査結果の誤報報告による自己決定権侵害</b> <b>医師会紹介</b> <b>熊本大学 大学院 生命科学研究部消化器内科学科</b> <b>昭和大学 東農園病院 循環器センター 循環器内科</b> <b>Medical Topics</b> <b>バックナンバーのご案内</b>
発行 株式会社メディカル・プリンシブル社	14
編集発行人 中村朝	22
編集委員会	22
佐々木弘基	22
中西義典	22
柳原良子	22
杉崎真弓	22
細田淳(Mamasクリエイターズ)	22
Mamasクリエイターズ株式会社	22
元気屋	22
編集・撮影・制作	32
撮影	32
バックナンバーのご案内	32



【ドクターの肖像】  
昭和大学医学部 教授 工藤道英氏  
(株)メディカル・プリンシブル社 社長 中村明(聞き手)

# DOCTOR'S MAGAZINE

ドクターの素顔や人生観の紹介、病院や医局の情報、その他医療に関連する様々な情報の提供を通して、ドクターの将来および日本の医療の将来のあり方について読者とともに考えるヒューマンドキュメント月刊誌。「民間医局」会員ドクターに無償で配布しています。

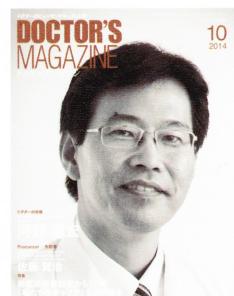


2014年8月号  
埼玉医科大学国際医療センター  
皮膚腫瘍科・皮膚科教授  
**山本 明史**



# 2014年9月号

## 国立循環器病研究センター 理事長・総長 **橋木 信夫**



2014年10月号  
東京医科大学  
脳神経外科学分野主任教授  
**河野道宏**



2014年11月号  
国立長寿医療研究センター  
理事長  
**鳥羽 研二**



**2014年12月号**  
昭和大学医学部 教授  
昭和大学横浜市北部病院 消化器センター長  
上海復旦大学 納身名誉教授  
**工藤 誠英**

プロフィール

医療法人花仁会 秩父病院  
理事長・院長  
医学博士  
日本外科学会外科専門医・指導

1972年日本医科大学を卒業後、日本医科大学第2病院外科入局。日本医科大学放射線科を経て、1980年より秩父病院で臨床・経営・教育にあたる。

医療法人花仁会 秩父病院 院長  
若林 峰士

基础教育课程教材 1-6 年级上册

発行／株式会社・プリンシブル  
創刊／1999年  
発行部数／6万部